

秋になり初めての山行、蓬莱山。小雨決行で蓬莱駅に4名で集合。過去に大雨の中を歩いたことがあるので雨も大丈夫。陽が差した時、山にきれいな虹がかかり良いスタートに。

駐車場所で読図、コンパスで現在地と蓬莱山の方角を確認。途中の目印になる滝や峠の位置、傾斜も確認して出発。

秋らしいピンク色の花や杉苔も美しく振り向くと琵琶湖がきれいに見えた。人工林の間の緩やかな坂の林道を約1km歩き砂防堰堤に着く、右側より山道に入る。砕けた石、握りこぶし位の石に落ち葉が積もり滑りやすい。急な段も越えて歩く。帰りも気を付けなければと考える。

4人でまとまり、落ちていた葉っぱで樹木名を当てたり話しながら和気あいあいと進む。峠までの中間点、薬師滝につく。落差15m位のが2段ほどあり、周りの岩と均衡のとれた滝を見ているとリーダーが来年の沢登りで登るか、それはちょっと怖いなど思ったが大丈夫、写真を撮って先に進む。緩やかでも歩幅くらの道の横は崖の所もありリーダーに注意を促される。杉の大木が見えてきた。直径から推計すると樹齢140年位となり唸る。

人工林から自然林となる。比良では標高700mくらいで自然林になると教わる。

峠の手前では、木も無くなり道は溝の様になり周りは芝。峠では冷たい雨風が吹き抜ける。冷たい寒いと叫びながら少しでも風を防げる山陰で靴にビニール袋をかけて雨ズボンをはく。権現山の分かれ道は霧で真っ白で蓬莱山頂上のみ目指す事に、振り向いても琵琶湖は見えない。上着を重ね、落ちて小女郎池へ向かう。山の平坦なところに静かな池が広がってきれいだなあと皆さんが写真を撮る。

以前より水が減り小さくなったとリーダー。古い伝説も聞き蓬莱山へ向かう。途中木の有るところで簡単に食事休憩。初秋の寒波に熱い飲み物の大切さを知る。ほっと温まり頂上まではあと少し、冷たい雨の中を連なり進む。頂上到着！白い霧の中を雨風が吹き付けるなかで一等三角点にタッチして説明を聞く。一瞬霧が薄れてゴンドラや展望ブランチが見える。寒くて記念写真も早々に下山開始。

同じ道を帰り雨風も収まりかけたが気を付けて歩き、山の天気の変わりやすさを実感。話したり歌ったり笑ったりと楽しい下山になった。思ったより早く安全に駐車場所に帰還。今度は晴れの日権現山に登りたいの言葉で締めくり、寒くなっても元気に健幸登山できるようにトレーニングだ。

今回も楽しい山行、みなさんありがとうございました。

2021年10月17日実施